



新生四中に向けて

校長 猪瀬 政幸

狛江四中は来年度40周年を迎えます。これまでの40年間、多くの先輩たちの手で四中の伝統が創られてきました、その四中の良さは今の生徒たちにもしっかり受け継がれています。

しかし、その一方で社会環境が大きく変わってきています。新しい時代に対応していくため、学校教育も変わっていかねばいけません。そのため今年度は、すでに体育祭を始め色々なものを見直してきました。今まで続けてきたことを変えるというのは相当な苦労やストレスを伴います。特に三年生には大きな負担ををかけてしまいました。そんな中、これまでよく頑張ってくれたと思っています。

今後も様々な点を変えていくこととなりますが、それは「やめる」とか「減らす」というネガティブなイメージではなく、「新しいものを創り出す」という感覚で、ポジティブにとらえてほしいと思います。新しく変わるという点で、いくつか例を挙げると、
○来年度の新生から体育着を一新します。現在、生徒の意見を取り入れながらデザインを検討中です。

○新たな標準服(制服)を導入するために、生徒や保護者を交えて、1年間かけて検討していきます。

○指定バックの撤廃をはじめ、生活のきまりを一部見直します。

○来年度の三年生から、修学旅行の目的地を函館・青森方面に変更します。それに伴い、戸狩スキー教室での体験活動を充実させる方向で進めています。

令和の時代の幕開け、そして40周年という節目の時期に、「新生四中」というスローガンのもと、その他にも色々なものを見直していく方針です。生徒・教員・保護者そして地域が手を取り合って、一緒に新しい四中を創っていきましょう。皆さんのご協力をお願いいたします。

9月・10月始の主な行事

- 8/27 始業式
- 9/ 2 全校朝礼
- 9 主権者教育講演会
- 17 生徒会朝礼
- 18 生徒会役員選挙
- 25 中間考査(～26)
- 28 道徳授業地区公開講座
- 30 全校朝礼
- 10/ 3 進路説明会
- 7 生徒会朝礼

「復興から再生へ」～祭りを通して結ばれた絆～ ※2学期始業式講話より抜粋

この夏休み、青森とは遠く離れた場所で行われた、小さな「ねぶた祭」に参加したときのことをお話しします。宮城県の東松島におおい地区という所があります。そこは、2011年の東日本大震災の際に、津波で街全体が壊滅的なダメージを受けた地域の一つです。

多くの住民は一瞬にして住む家を失い、家族や友人を亡くした人もいました。震災後に他の場所に移り住んだ人もいますが、残された住民の多くは仮設住宅での厳しい生活を送ることになります。

震災の翌年、そんな住民の方たちを少しでも元気づけたいと、とある団体が、青森県のねぶた祭で使ったねぶたをトラックに積んで、はるばる東松島まで運び、現地で組み立て「ミニねぶた祭」を開催することになりました。以来、8年間、毎年この時期に「東松島あおい地区ねぶた祭」として続いています。

祭りが始まってから数年は、まだ人も少なく街全体が真っ暗でした。祭りを観に来たおばあさんが「来てくれてありがとうね」と手を合わせて涙を流しながら感謝する様子に、こちらとしても心が打たれました。

その後、復興が進み、現在はきれいに区画整理が行われ、まだまだ空き地が多いですが、ちらほらと新しい家が建ち始め、生まれ変わった新しい街として再スタートしているところです。

今年の祭りを観に来た住民は、若い夫婦や子どもたちも大勢いて、表情も明るく目を輝かせて観ていました。その時、改めて人々が苦難を乗り越えていく力、再生のエネルギーを感じました。

以前とは祭りを開催する意味合いが変わりましたが、現地の人と結ばれた絆はこの先いつまでも続いていくことだと思います。たかが一つの祭りですが、祭りを通じて元気を与え、逆に感謝の気持ちを受け取る。そうやって共に支え合い、助け合うことができるのが日本人の良さ、日本の素晴らしさではないでしょうか。

今回は、東松島の再生の様子を肌で感じてきましたが、その一方で、まだまだ復興が進んでいないと感じるところもありました。

我々は東京から車で現地に向かったのですが、途中で福島県の海岸寄りの高速道路も通ります。すると、崩れかけた家屋がそのまま放置されていたり、除染された土を集めて巨大な袋に入れたものが無数に並んでいるのが見えました。道路脇には放射能の計測値も表示されています。

そんな様子を見ていると、まだまだ苦しんでいる人が大勢いるだろうし、震災は終わっていないのだなと感じました。それと同時に、被災地の方に自分たちがやれることはまだまだあるのではないかと改めて思いました。



◇部活動の記録（夏季大会の結果より）

サッカー部	ブロック大会(予選リーグ)	3勝2敗	1回戦 0-0(PK2-1) 2回戦 1-3
	ブロック(決勝リーグ)		
野球部	ブロック大会	2回戦	1-8
女子バスケット部	ブロック大会	1回戦	63-24
		2回戦	58-30 3回戦 30-78
男子バスケット部	ブロック大会	1回戦	58-60
女子バレーボール部	ブロック大会(予選リーグ)	1勝1敗	
吹奏楽部	第59回東京都中学校吹奏楽コンクール 銅賞		
合唱部	第86回NHK全国学校音楽コンクール(都中学校予選) 銀賞		

試合・大会当日には多くの保護者の方の応援ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

◇文化面でも頑張っています四中生！

○第69回 社会を明るくする運動 中学生啓発標語 優秀賞	『令和でも 変わらず優しさ つなげてく』	2B 中村美沙 さん
○第30回 伊藤園 お〜いお茶新俳句大賞 佳作	『吐く息の 白き中光る ピラカンサ』	2A 渡邊芽菜 さん
佳作	『大の字に 飛び込んでから 雪かき開始』	3A 川原井茜 さん
佳作	『春を待つ 雪の積もった 信号機』	3C 藤田慶土 くん

3年修学旅行を終えて

7月10日(水)から12(金)修学旅行に行ってきました。天気が心配された今年の修学旅行ですが、初夏の爽やかな青空も見られる中、無事全ての予定を終えることができました。今回は、白馬スキージャンプ台・工芸体験・菜の花公園・手作りこんにやく体験など、新しい試みをたくさん取り入れました。特に標高差138mのラージヒルジャンプ台は圧巻で、下が丸見えの階段はネットが貼ってあるとは言え怖さに足がすくみ、そこから飛び出すジャンパーの勇気に改めて感心させられました。緑の山々と千曲川に囲まれた豊かな自然の中でのカヌー・スケッチ・農作業・餅つき・戸狩小交流会や様々な人々との交流を通して、心を耕し、仲間と成長することができた修学旅行となりました。



2年職場体験を終えて

今年度の職場体験は7月10日(水)から7月12日(金)まで、3日間にわたって行われました。狛江市内外の28か所にのぼる事業所の方のご協力で、つつがなく計画を終えることができました。2年生の生徒は自分たちの立場や責任を自覚して、「とてもよくやっています」と、事業所の方からお褒めの言葉をいただくこともありました。保育園に行った生徒からは、かわいい保育園児たちと楽しい時間を過ごしたという言葉が聞かれました。普段の学校生活とはまた違った思い出に残る経験ができ、本当に良かったと思います。やがて社会に出る生徒たちの将来に対する考え方や、職業に対する意識づけに今回の職場体験が役立てばそれに越したことはありません。保護者の皆様にもご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。



女子生徒の防寒対策について～保健主任から～

これから始まる2学期は、行事が沢山あり忙しくなりそうですね。皆さんが元気よく活躍する姿を楽しみにしています。女子生徒の防寒対策についてですが、今学期より黒タイツの使用を認めていく方針となりました。詳細につきましては、後日お伝えさせていただきます。